

各 位

会 社 名 株式会社JVCケンウッド  
 代表者名 代表取締役  
 社長執行役員 最高経営責任者（CEO）  
 江口 祥一郎  
 （コード番号6632 東証プライム市場）  
 問合せ先 企業コミュニケーション部長  
 遠藤 勇  
 （TEL 045-444-5232）

## 新中期経営計画の策定に関するお知らせ

### ～ 「VISION2025」 企業価値の最大化に向けて ～

当社は、2023年度を開始年度とする新たな中期経営計画「VISION2025」を策定しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 「VISION2023」の進捗と「VISION2025」の策定について

当社は、2021年に中期経営計画「VISION2023」を策定し、「変革と成長」を基本戦略として収益基盤の確保と構造改革で安定した事業収益を「稼げる体質」へ変革し、既存事業の収益基盤の強化、事業ポートフォリオの再定義により新たな成長分野を確立し、エクセレント・カンパニーへの飛躍に向けて様々な経営施策に取り組みました。

これらの取り組みの結果、「VISION2023」の最終年度（2023年度）に設定した主要な経営目標を2022年度に前倒しで達成しました。

	VISION2023 2023年度 目標	2022年度 実績
売上収益	3,200億円以上	3,369億円
事業利益 <sup>※1</sup>	120億円以上	158億円
ROE	10%以上	18.2%
自己資本比率	30%以上	33.0%
D/Eレシオ	1.0以下	0.63

※1：売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含みません。2024年3月期より従来の「コア営業利益」を「事業利益」に名称変更しました。

一方、地政学リスク増大によるサプライチェーンの見直しや世界経済動向の不透明化など、当社を取り巻く事業環境は大きく変化しています。経営指標の前倒し達成とこうした事業環境の変化を踏まえて、今回新たに企業価値最大化の観点から「変革と成長」の基本戦略を強化した、2025年度を最終年度とする新中期経営計画「VISION2025」を策定しました。

## 2. 新中期経営計画「VISION2025」の位置づけ

当社は企業理念<sup>※2</sup>として「感動と安心を世界の人々へ」提供することを掲げており、この理念の実現に向けて「たくましさ」と「したたかさ」を併せ持つエクセレント・カンパニーへの飛躍を目指しています。

「VISION2025」では「VISION2023」で掲げた基本戦略「変革と成長」をさらに進化させ、事業ポートフォリオを最適化することで成長モメンタムを加速し、企業価値最大化を目指していきます。

※2：当社グループの企業ビジョンを企業理念として再定義



## 3. 新中期経営計画「VISION2025」の基本戦略：「変革と成長」

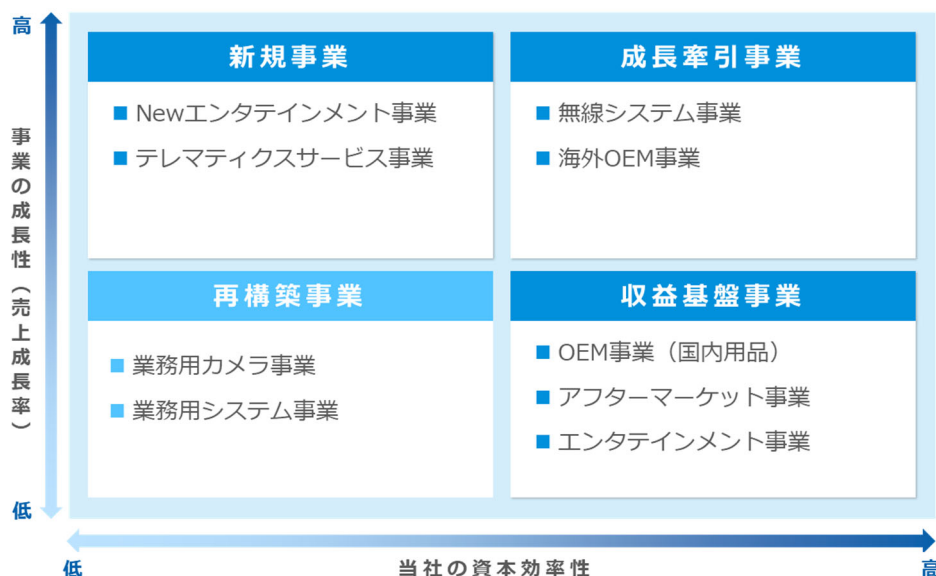
### <基本戦略>

「VISION2025」では、「変革と成長」を基本戦略とした事業ポートフォリオとキャピタル・アロケーションの最適化を図るとともにサステナビリティ経営を推進し、企業価値の最大化に向けて取り組んでいきます。またこれらの取り組みを通じて、安定的に ROE10%を確保する体質を構築し、PBR1.0 倍超の早期実現を目指していきます。

### <企業価値の最大化に向けた事業ポートフォリオの最適化>

「VISION2025」では企業価値最大化の観点で、中期的な事業の成長性<sup>※3</sup>と自社の資本効率性を考慮した資源配分を行い、2025年度に向けて最適な事業ポートフォリオ変革をさらに進め、持続的な企業価値と株主価値の向上に取り組んでいきます。

※3：2023年度～2025年度の3カ年における売上成長率



### <戦略強化の方向性>

「VISION2025」では当社を取り巻く事業環境の変化と企業価値最大化の観点から、「VISION2023」より戦略強化の方向性を見直し、当社の目指す事業戦略をより明確にするために分野名称を変更しました。

分野	戦略強化の方向性
モビリティ& テレマティクスサービス	市場の変化に対応した車載用スピーカー・アンプ・アンテナ・ケーブル・レンズを軸に事業拡大
セーフティ& セキュリティ	北米中心に無線システム事業を成長牽引事業として利益の最大化
エンタテインメント ソリューションズ	ゲーム・アニメ事業を強化 既存メディア事業は事業の質的転換を推進

### <「VISION2025」 経営指標>

「VISION2025」における経営指標は以下の通りです。

	2022年度 実績	2023年度 業績予想 (2023年4月27日発表)	2025年度 目標
売上収益	3,369億円	3,500億円	3,700億円以上
事業利益率	4.7%	4.2%	5.0%以上
EBITDAマージン	12.5%	10.3%	10%以上
営業キャッシュ・フロー	266億円	325億円	900億円以上 2023年度-2025年度の3カ年合計
ROE	18.2%	8.0%	10%以上
ROIC <sup>※4</sup>	8.3%	7.6%	9%以上

※4：ROIC = (税引き後事業利益+持分法損益) ÷ 投下資本 (株主資本+有利子負債)

## 4. 財務戦略

「VISION2025」では、資本コストを重視した資本効率向上と成長投資バランスのとれたキャピタル・アロケーションの実行により、企業価値最大化を目指していきます。

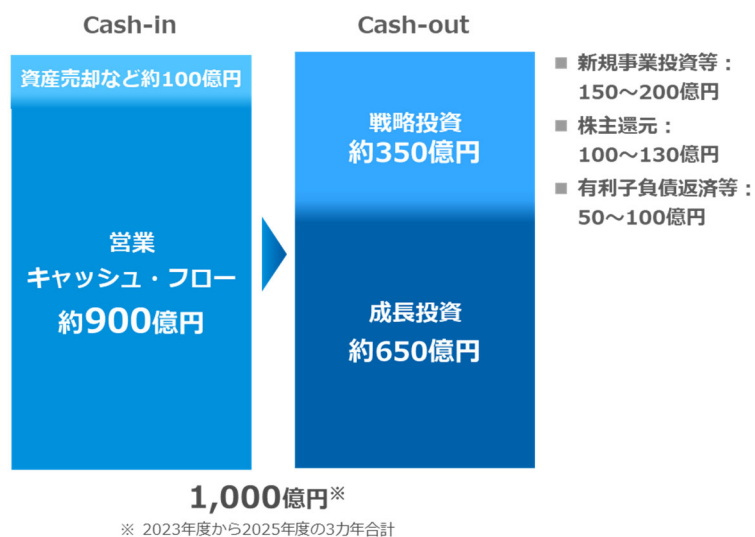
### <2025年度 財務目標>

- ・ ROE：10%以上
- ・ ROIC：9%以上
- ・ 有利子負債資本倍率 (D/E レシオ)：0.6 以下
- ・ 親会社所有者帰属持分比率：35%以上
- ・ 総還元性向：30~40%目安

## <キャピタル・アロケーションの考え方>

「VISION2025」では、資本コストを上回る資本収益性の達成に向けて利益成長を実現する営業キャッシュ・フロー創出に重点を置いた上で、成長投資と戦略投資の用途を明確化して、キャピタル・アロケーションを最適化していきます。

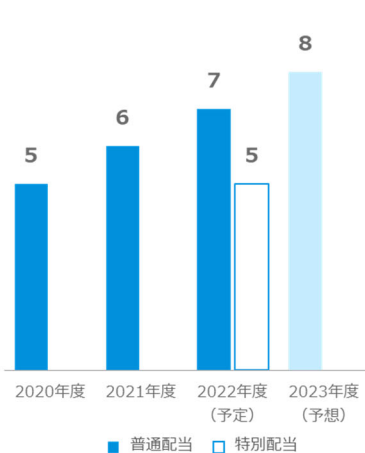
成長投資には設備投資や経営基盤強化に向けた投資を、戦略投資には新規事業などへの投資や株主還元、有利子負債返済を織り込んでいき、戦略的なキャピタル・アロケーションを実行していきます。



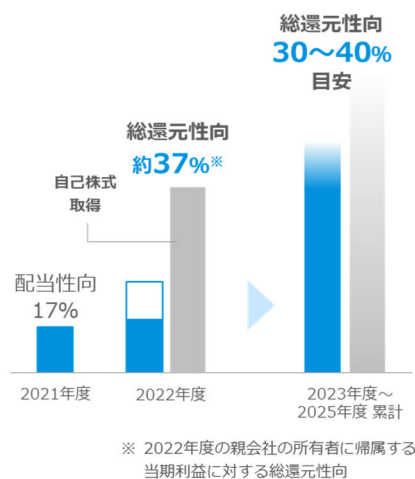
## <株主還元方針について>

当社は、安定的な利益還元および今後の成長に向けて経営資源を確保することを経営上の最重要課題の一つと考え、収益力および財務状況を総合的に考慮して、総還元性向を株主還元の指標としました。業績に応じた株主還元策とした配当に加え、中長期的な利益成長に向けた資本活用、資本効率性改善効果のバランスを踏まえつつ、機動的に自己株式取得を行い、総還元性向30～40%を目安に株主への安定的な利益還元を実施していきます。

### ▶ 一株当たり配当金推移 (円)



### ▶ 配当性向・総還元性向 (%)



## 5. サステナビリティ戦略

当社グループは、企業理念「感動と安心を世界の人々へ」に基づき、事業を通じてあらゆるステークホルダーの期待に応えていくことが重要だと考えます。社会から信頼され、社会に貢献する企業であり続けることは、企業としての持続的な成長にもつながります。

「VISION2025」では、「利益ある成長」と「グローバルでの社会課題解決」を両輪とするサステナビリティ経営の推進活動をさらに深化させ、企業価値向上を目指します。

<サステナビリティ戦略の方向性>

E：環境への取り組み	環境負荷削減に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献
S：社会への取り組み	イノベーションを実現する人材の育成および組織能力強化と、サステナビリティ調達の推進
G：ガバナンス	サステナビリティ経営を確実に実行する推進体制 持続的な企業価値向上に向けた取締役会実効性評価の継続的な取り組み

当社グループは、「感動と安心を世界の人々へ」提供すべく、大きく変化する事業環境の中で中長期的に企業価値を向上していくとともに、今後も変化を先取りして未来を切り拓く「たくましさ」と「したたかさ」を併せ持ったエクセレント・カンパニーへ飛躍していきます。

以 上